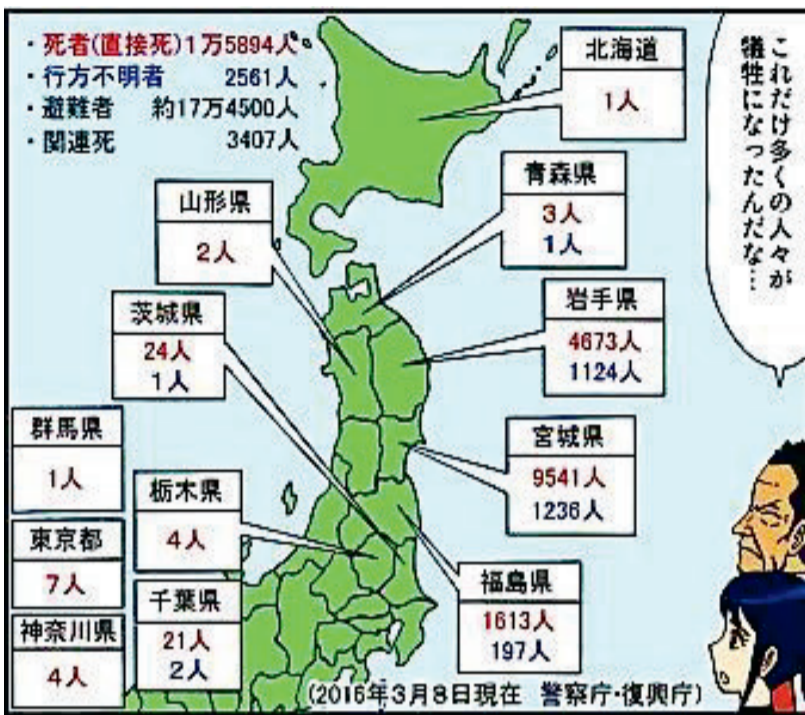
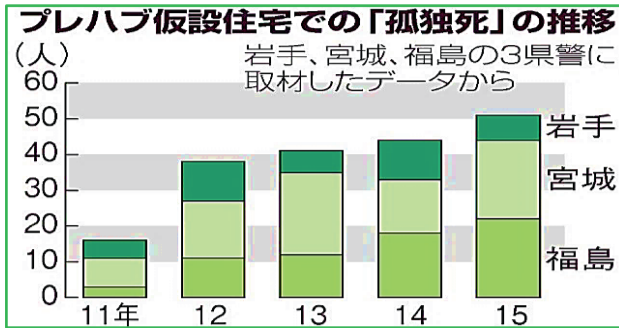


## 3.11東日本大震災から5年 被災地の現状！被災地の方々は必死に生きておられます。復興に向かって共に歩みましょう！



これだけ多くの人が犠牲になっただんなが



### プレハブ仮設住宅から学校に通う児童、生徒数(人)

	小学生	中学生
岩手(12市町村)	787	480
宮城(12市町)	1245	762
福島(11市町村)	292	230
3県計	2324	1472

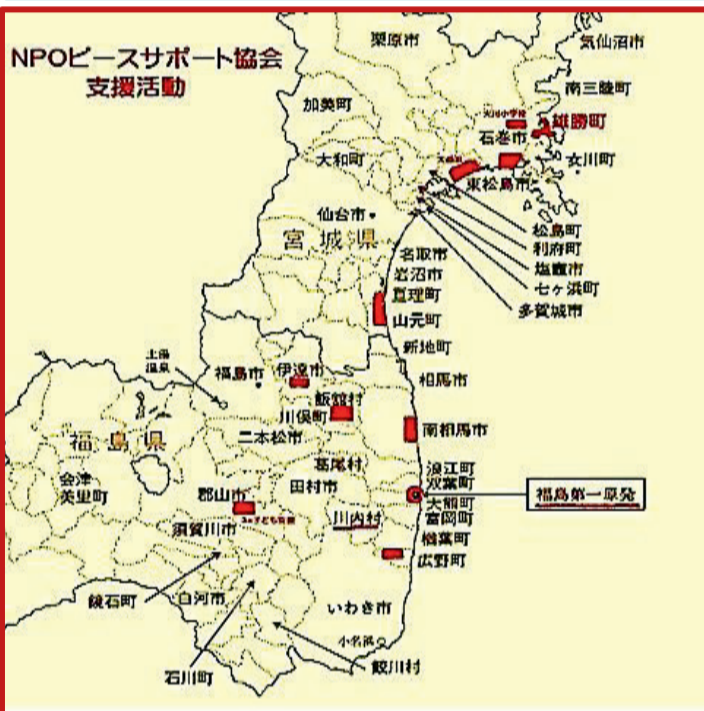
※2015年5月1日時点。被災42市町村に取材し、7市町村は未集計

### 仮設住宅から退去後の行き先が未定の世帯数

岩手県	入居世帯数	行き先未定世帯数	
入居期間が原則5年(5市町村)	154世帯	16世帯	
入居期間を6年に延長(7市町村)	8500	658	
計	8654	674	
宮城県	入居期間が原則5年(7市町)	4391世帯	127世帯
入居期間を6年に延長(7市町)	1万5380	1900	
計	1万9771	2027	

市町村が把握する1月末現在(例外あり)の世帯数。一部で戸数などからの推計値も含む

## 5年間で広がった支援の輪、しかし福島第1原発の現状は！ 廃炉に向けて毎日7000人の人々が命がけの作業をされています。



2016年3月10日現在  
 全国避難者数は 174,471人  
 仮設住宅等に住民 59,000人  
 原発事故避難者 99,750人

「福島第1原発」構内では毎日7,000人が必死に作業！  
 1時間当たり1.2ミリシーベルト現在の東京都内の約1万倍以上。  
 いまだにとつともなく過酷な現場  
**廃炉まで40~50年かかる？**  
 1~4号機建屋内には計約8万1000トンの高濃度汚染水がたまっている。計80万トン地上タンクに保管されている。  
 トリチウム水汚染水はいまも1日160トン出る。  
 この先の一番の課題は、原子炉格納容器の底などに溶け落ちた核燃料「燃料デブリ」をどう取り出すかということ。  
 取り出しの目標は2021年  
 取り出した後、メルトダウンした超危険な核燃料をどこに保管するのかもまだ決まっていない。

## H27.11.2・H28.3.13 宮城県石巻市、雄勝町の皆さんを訪ねました。 ワカメを食べて復興支援にご協力をお願いします！



※H28.3.12 雄勝町立浜ワカメ支援 視察訪問しました。  
 雄勝町立浜の漁師の方々は仮設住宅に住み、高台の新居移転はようやく今年できそうです。家を無くし新たな生活復興まで苦難の道のりがまだ続きます。  
 雄勝町立浜協会の自治会長末永勝紀さんの言葉が心に響いてきました。  
 「震災から5年間、今まで沢山の支援を頂いたことを思い出します。本当に有難うございます。皆さまとお会いすると新たな勇気が湧いて来ます。今後ともご支援の程よろしく願いいたします。」と心から感謝の言葉を頂きました。  
 今年の3月末日には、新ワカメが収穫できる予定とのことでした。  
 微力な私たちですが少しでもワカメ復興支援をさせて頂きたいと思ひます。  
 雄勝の新鮮な生ワカメ¥500円で仮設に住む漁師さん方への生活復興支援になります。どうぞ多くの市民の皆さま方のご協力を心からお願い申し上げます。



## H27.11.2・H28.3.13 宮城県東松島市大曲仮設の皆さんと「ふれあいサロン交流会」が行われました。



小野竹一自治会長さん(中央右)と役員の皆さまと共に日本一住みよい町づくりへ共に歩みましょう！東松島市大曲 矢本野球場仮設 集会場にて



<ふれあいサロン交流会>震災から5年、仮設に住む人たちは300人、小野竹一自治会長さんに呼びかけて頂いて「ふれあいサロン」を開催しました。参加者は40名、皆さんから「私たちは仮設住宅で大きな声で話せません。今日は久しぶりに大きな声が出て、のびのびと運動ができてとても幸せでした」との感謝の言葉、本当に今も大変な生活をされておられることを実感しました。新しい団地によりやく移れます。でも5年間の仮設の皆さんとまた別れてしまうのがとても悲しいです。涙ぐむ皆さまのご心痛が伝わってきました。

<丹野理恵さん>母を抱きかかえて津波に流され、流る家の屋根にしがみついて登ろうとした時、母は波にのまれてしまいました。数日後、母の遺体を確認したけど「なぜ助けられなかった？」と泣き伏して自分を責め続け、今まで数年間、部屋から出られませんでした。今は父と二人暮らし、父には涙を見せられない、これからは心配かけないように明るく元気を出して、この街づくりのボランティアをしています。とても明るい丹野さんです、きっと彼女の涙がお母さんに届いていると思いました。





福島県ではH27.7現在も6万3988人の方々が避難しています。そして心配される放射能、空間線量が高い中、住民は生活しています。H28年1月、甲状腺がん悪性・悪性疑い166人（福島県調査）との報道です。その中を、生活している子供や家族へ手を差し伸べて活動している「3a郡山」の野口時子さんを訪ねました。毎日の生活が見えない放射能による健康被害の不安、空間線量0.23μSvは年間1mSvのボーダーラインを越してしまいます。その不安と闘う皆さまをこれからも支え共に復興への道を歩んでいきたいともいます。皆さまのあたたかいご支援を心からお願いいたします。



野口さんから福島の現状をお聞きしました。

## 被災地支援ツアーに参加して



雄勝町立浜仮設の漁師さんを訪ねましたが、高台の造成工事が進んで少しずつ確実に復興している様子を見て、私の方が勇気を与えて頂きました。そして、福島県郡山市で「小児甲状腺支援」に取り組む「3a」を訪ねましたが、ここが一番大変だと感じました。震災以来、5年たっても様々な問題が未解決のままです。福島の甲状腺がんが増え続けていること、避難した人々への賠償、放射線の空間線量がまだまだ高い状態で生活していること。これからどうしてよいのかわからない感じがします。福島は復興しているどころか、新たな問題が発生しているようです。聞いていたことよりも、現地で見ると感じることは大きな衝撃でした。ここに来ないとわからないことを、私は地元に戻って伝えなければと思いました。今はことあるごとに、職場や友人に伝えています。形の上では少しずつ復興に向かってはいるが、被災地の方々の心中は深くつらいものを一生抱えながら生きていかなければならないのですね・・・。本当に大事なことを学ばせていただきました。（H・Mさん）足利市

東松島市大曲浜の仮設の皆さまとの「ふれあいサロン」では、お帰りに「いかがでしたか？」とお聞きすると「歌を唄っている時はみんな忘れられるよ」と話される方、新居に移転される方は「私は5階の部屋を選んだの、津波来ないからね」と答えて下さいました。心が痛む思いです。心穏やかに明るく歩いて行ってほしいと願うばかりです。自分のできることをさせて頂きたいと思います。（S・Kさん）足利市

一番学ばせていただいたことは、皆さん明るくて前向きに生きている、私自身当たり前前に生活できていることに感謝を忘れないことでした。小野会長さんの町を思う気持ちが素晴らしいと思いました。雄勝町の皆さんにも、元気をいただきワカメや昆布などを支援協力を多くの方にも声をかけていきたいです。郡山市で取り組んでいる「小児甲状腺がん」も心配です。医師や行政はどう取り組んでいるのか、町は復興していますが、体や心の面で悩み苦しんでいる方も多いいと思います。将来ある子供たちが、安全で安心して愛する福島の地で暮らせるように、募金活動を通して支援させていただきます。（M・Sさん）佐野市

## 平成27年度の活動報告

事業報告・活動計算書はHP <http://peace-sa.com> をご覧ください。



**H27年6月6~7日 終戦70年「平和のつどい」が開催されました！**  
終戦70年の年を迎え「金田昌子さん講演会」が前橋市下川淵公民館 足利市民プラザの会場で開催されました。70年前の東京大空襲で見渡す限りの焼野原、真っ黒な遺体に「ごめんなさい。ごめんなさい」とご遺体をまたぎながら姉を探したが見つからなかった。87歳になった今も。火事の映像や花火は直接見られない。「絶対に戦争はしないで欲しい！」と訴えられました。参加された210名人々が平和の大切さをかみしめました。



「ダルマ塾」は、生活に即した諸問題を通して、豊かな心を身に付けて 生きがいある人生を歩むことを目的とします。本音での学びあいには感動が生まれます。



日時：毎月第3土曜日 AM10:00~PM3:00  
会場：足利市民プラザ 又は 足利市市民活動センター  
対象：平和支援活動へ意欲のある方、誰でも参加できます。



＜参加者の感想＞  
＜埼玉 Mさん＞ 毎月学ぶごとにころが洗われて、とても幸せを感じられてきました。  
＜栃木 Sさん＞ 今まで嫌な人と思っていた人に会うのが楽しみになってきました。本当にうれしい気持ちで一杯です。  
＜群馬 Mさん＞ すべてに良い悪いと白黒つけた自分がありました。これからは善いことを心を込めて讃えられる自分になります。

## 「被災地支援報告会」H27.12.17

足利市民活動センターで、大震災から5年になろうとしている被災地支援の現状について、活動報告会が開催されました。大勢の参加者と共に支援の大切さをかみしめました。



## 平成27年度 支援活動の報告 温かいご支援ありがとうございました。

支援活動	内 容
雄勝ワカメ支援活動	4,770袋 (振り込み済み)
雄勝生昆布支援活動	1,180袋 (振り込み済み)
チョコ募金支援活動	甲状腺検査支援 800口分 (振り込み済み)
復興支援活動	雄勝町、東松島大曲浜仮設(復興支援寄付¥200,000) 郡山3a支援 (活動支援寄付¥100,000)
海外支援活動	ジムネットへ (シリア緊急支援の寄付金¥100,000)
人材育成事業	ダルマ塾 4月~毎月1回 (参加者273名)
講演会事業	足利市、前橋市2会場 (参加者210名)
理事役員会	理事会年3回 役員会 毎月1回
支援者サポーター	145名

## 「桐生市駅まえ広場」H27.5.3

桐生市市民活動センター「ゆい」の近藤センター長さんの配慮により桐生駅に於いて「ワカメ支援」を呼びかけました。2時間で254袋完売



## 「葉鹿町トラック市」H27.6.14

毎年開催されるトラック市で、ワカメ支援を樋口さんの支援グループが呼びかけてくださいます。あっという間に250袋のワカメが完売されました。



## あなたも一緒に支援活動のサポーターになりましょう！

年一口¥3,000-の支援(サポート)が拡がっています。

ピースサポート協会は、多くの皆さんと共に、思いやりあふれる家庭や社会を助け、東日本の被災された方々や、海外の貧困生活に苦しむ子供たちへの支援を推進しています。どうぞ皆さん、私たちと一緒に平和支援のサポーターになりましょう。あなたの支援(サポート)が世界中に拡がっています。



シリア難民の人々300万人

世界中の幸せは一人の人の心から

NPO法人 **ピースサポート協会**

事務所 〒379-2143 群馬県前橋市新堀町190番地1

TEL/Fax (027)265-2277 携帯 090-1113-9200

E-mail [info@peace-sa.com](mailto:info@peace-sa.com) <http://peace-sa.com>